

あさか開成高等学校オーストラリア海外研修 7 日目 (7/21)

今日は土曜日ですが、ホームステイギャザリングと言う集まりがありました。公園に学生とホストファミリー全員が集まり、交流をする日です。ソーセージと玉ねぎを炒めてホットドッグにしたオーストラリア式のバーベキューが用意されていましたが、私たちもこの機会にと準備してきたものがあります。

1つは七夕の紹介です。本物の笹を公園の木に立てかけ、色とりどりの笹や折り紙を用意しました。多くのホストファミリーはこの文化を知らないなので、七夕とはなにか、日本ではどのような事をするのかと言う説明から始めました。司会も説明も生徒が担当します。その後短冊に願い事を書き、笹に飾ってもらいました。生徒たちはホストファミリーが書いた短冊に、それぞれの名前を漢字で書いてあげました。当て字なので正解は無いですが、1つ1つ漢字の意味を説明し、ファミリーも書いてもらった自分の名前を嬉しそうに見ていました。

次は「花は咲く」の合唱です。せっかくなのでホストファミリーにもサビの部分を歌ってもらおうと、ローマ字で読み方を付けたものを配り、ファミリーごとに練習してもらいました。歌詞の読み方を教え、本番も生徒が歌う声を追ってファミリーも一緒に歌ってくれました。歌に合わせて女子生徒がフラダンスの振り付けを踊ってくれ、それが歌の雰囲気にとっても合っていて感動したと拍手が溢れました。

最後に高齢者施設でも好評だった「寿限無」の披露です。今日は野外で多くの人がいるためマイクを使うことになったのですが、そのようなサポートも生徒同士状況を見て積極的に動いてくれました。

生徒が話し始めると、その語り口にどんどん引き込まれ、大人も子どもも夢中になって聞いています。後半は笑い声が続き、現地の方にもその面白さが理解されていることが分かりました。最後には歓声と大きな拍手をもらいました。

オーストラリア人はバーベキューが大好きですので、今まで留学生を受け入れた経験のあるホストファミリーにとって今日は御馴染みのイベントです。ですが、今回生徒たちが披露したパフォーマンスは彼らにとって新しいものばかりでした。今までで一番素晴らしかったとの感想もあったほど、ホストファミリーにとっても新鮮で充実した時間となったようです。さらに今日は、予定通り、時間通りになかなか進まないこちらのスケジュールにも動じることなく適応し、自分の役割だけでなく周りを見た行動を取る生徒が目立ち頼もしさを感じました。ホストファミリーも自分の生徒のパフォーマンスを写真や動画に収め、“Good job”と声をかけてくれました。まるで本当の子どもを見守るような暖かい眼差しでした。



ホストファミリーと遊ぶ生徒たち



七夕文化紹介①



七夕文化紹介②



歌を教える生徒たち



「花は咲く」の合唱



「寿限無」披露